

Project NAZCA

プロジェクトナスカ

その名の由来は、南アメリカが誇る世界遺産「ナスカ」の地にあやかり、中南米、ラテンの魅力プロジェクトしていこうという意図のもと名付けられた。この音楽プロジェクトは、2009年夏に始まった。南米に古くから伝わる民族楽器やその音色、旋律、失われつつある美しい伝統文化の魅力を継承し、多くの方々へ伝えていくこと、また、現代音楽や世界各地のリズムと融合させるなど、新たな音楽性を探求するため立ち上げたユニットである。幅広い年齢層の方々に親しみをもってもらえること、世界の国境を越え、私達の音楽を通して平和のメッセージを贈れることを願い、活動していきたいと考えています。



EFRAIN HERNANDEZ (エフライン エルナンデス)

メキシコ、メキシコシティ出身。ラテンアメリカ音楽を10代から手がけ、兄のパブロの影響でケーナ、サンポーニャを吹くことから音楽を始めた。現在は、ボンボ、ボンゴ、打楽器全般に及ぶ。1991年初来日。以降、兄のパブロと日本各地で音楽活動を展開する。世界各国での経験を生かした彼のオリジナル曲は、多彩なジャンル、リズムとの融合により、国境を越えた音楽として高い評価を得ている。

ANTONIO CAMAQUE (アントニオ カマケ)

ペルーのアレキパ出身。家族の影響を受け、フォルクローレに興味を持つ。ルイス・ドゥンケル・ラパリエ音楽学校で本格的に音楽を学び、ペルーにて活動を繰り広げる。1997年来日。以降、日本を拠点とし、ライブ、コンサート、イベント活動を展開し、現在ソロ活動を中心としつつ、活躍の場を広めている。サンポーニャ、ケーナ、チャランゴと、多彩な才能から描き出される彼の音楽は、オリジナル曲「KAUSAY」や「DHACHANI」をはじめとし、アントニオ特有の迫力と哀愁感溢れる曲としても高い評価を得ている。

PABLO HERNANDEZ (パブロ エルナンデス)

メキシコ、メキシコシティ出身。弟エフラインと同じく、ラテンアメリカ音楽を10代から手がけている。ギター、チャランゴ、ベネズアラ・クアトロ、など弦楽器を始め、ボンボ、サンポーニャ、ケーナに及ぶ技術を取得する。音楽を通じて自らの考えやラテンアメリカの原点に触れることができると知る。その頃から音楽活動を主に手がけている。1991年に弟と初来日してから、同じ道を進んでいる。世界各国での経験を生かした彼のオリジナル曲は、多彩なジャンル、リズムとの融合により、国境を越えた音楽として高い評価を得ている。



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩 4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄 4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間: 10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)